

高岡の2企業視察

富山
商議所

富山商工会議所エネルギー・観光交通運輸部会は2日、高岡市で合同視察会を開いた。約25人が環境ベンチャーのアルハイテック（同市オフィスパーク）と、日本総合リサイクル（同市

伏木1丁目）を訪れ、それぞれの事業に理解を深めた。アルハイテックでは、水木伸明社長が廃アルミから生成する「アルミ水素」普及の取り組みや、県内外でアルミ水素火力発電所を整

備する方針を説明。同社の事業に強い関心を示すアラブ首長国連邦が石油依存脱却へアルミ製錬に力を入れ、2045年に石油の輸出をやめる方針だとし、「日本では危機感があまりないが、中東は本気だ。一度行けば分かる」と強調した。日本総合リサイクルでは大型車両や鉄・非鉄金属の解体、リサイクルを手がける工場を見学した。



水木社長（左）から事業内容の説明を受ける参加者

アルハイテック